

高美小学校内 TM だより

R7.6.27. NO.14

5年2組の授業におじゃましました。

★社会科の学習から発展★

社会科の学習で「食料生産」について学習しました。本時ではその中から特に畜産業に目を向けて、その仕事に携わる方の仕事内容について学習したり、仕事にける思いについて考えたりしました。授業の初めに、社会科で学習した食料の産地について思い出すよう、一問一答形式で子どもたちに問いかけておられました。その中から、今日は牛肉について考えることを子どもたちに伝えておられたので、社会科からスムーズに移行することができました。

★具体物を使うことでイメージしやすく★

実際にスーパーで並んでいる牛肉の画像を黒板に掲示し、牛肉になるまでを想像する時間をとっておられました。子どもたちは「こんな感じかな」とざっくり想像することはできますが、やはり具体的なところまでたどり着くのは難しいようでした。そこで北埜先生は前もって準備されていた絵本を紹介されました。一冊目は、実際の作業場の写真も交えた本でした。リアルな情報に、はじめは少し表情がこわばっていた子もいました。ですが、北埜先生は子どもたちの表情を確かめながら、あえて直接的な表現は避けたり、終始落ち着いたトーンで話したりすることを心がけておられたので、子どもたちの表情も次第に真剣なものに変わっていくようでした。二冊目の絵本は、実際に働いておられる方の葛藤と、その末にたどり着いたやりがいを描いたものでした。登場人物にぐっと引き込まれていくのを感じました

★ワークシートはできるだけ自由に★

ワークシートを用意しておられました。できるだけ質問の内容は短く、シンプルに。書き込む枠には線を入れないことで、自由な気付きを、自由に書き込むことができるようになっていました。「いのちをいただく」にこめられた意味については、「いのちをもらうことに感謝して、いただきますやごちそうさまをする」「牛だけじゃなく、ほかの動物にも感謝をしていただかなければならない」という内容を書いている子がほとんどでした。
～まとめ～

子どもたちにとって、普段生活しているなかでは、もしかしたらこれまで意識したことのないような内容だったかもしれません。だからこそ、五年生の先生方はいつも以上に時間をかけて話し合い、準備をしておられました。具体物や絵本をつかい、イメージしやすくなるような工夫をされていたことと、落ち着いたトーンで語りかけるように指導されていたことで、子どもたちは目を背けることなく、正面から真剣に考えることができたのだと感じました。北埜先生、5年2組のみなさん、ありがとうございました。

